在家中だより

No.４６７　令和６年４月８日(月)

川口市立在家中学校　川口市大字安行領在家２７２番地
０４８（２９５）４１０２　FAX ０４８（２９５）５６６１
URL　https://zaike-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/

・心身ともにたくましい生徒
・自ら進んで学ぶ生徒
・豊かな情操を培う生徒

令和６年度のスタートにあたって

校長　鈴木　玲

温かな日差しと清らかな風が感じられる４月、新たな希望を胸に令和６年度がスタートしました。生徒、保護者の皆様、入学ならびに進級、誠におめでとうございます。在家中学校の一員となって３度目の春を迎えます、校長の鈴木 玲（すずき りょう）でございます。今年度も引き続き宜しくお願いいたします。

本日の入学式において新１年生１３１名を迎え、２年生１２０名、３年生１５３名と合わせて全生徒数４０４名で令和６年度のスタートを切りました。また、本年度当初の人事異動により、１４名の先生方が転出され、新たに１２名の教職員が着任いたしました。新たな教職員とともに、子どもたちの成長を支え導けるよう、一丸となって尽力いたします。

尚、本年度は以下の方針で教育活動に取り組んでまいります。

〈学校教育目標〉
(1) 心身ともにたくましい生徒
(2) 自ら進んで学ぶ生徒
(3) 豊かな情操を培う生徒

目指す学校像
「夢」の実現に向かって個を活かし、
協働しながら前進する学校
～ 自ら考え、行動し、社会に貢献できる人間の育成～

また、本校のキャッチフレーズを『継ぐ・担う・挑む』としています。

『継ぐ』　一昨年、在家中学校は４０周年を迎えました。昭和５８年の開校以来、先輩たちが築き、残してくれた在家中の伝統や文化は数多くあります。これらが今に続く意味を考え、これからも大切に引き継いでいきます。

『担う』私たちが引き継いだ在家中の伝統や文化、これまで個々に身につけた力を次の世代に受け渡すために、今、何をすべきなのか。この「今」についてしっかりと考え、行動することこそが大切であり、すべきことだと考えます。在家中学校の「今」を創る自覚と責任、そして、誇りを生徒・教師ともに一人一人が担う学校づくりをします。

『挑む』 ポストコロナ時代を迎えた今、社会では様々な変化が起きており、学校教育についても同様です。４０周年という一区切りを経過したことも踏まえ、授業や行事など、コロナ以前の学校に戻すのではなく、それぞれの活動について吟味し、新たな形に作り替えていく必要があると考えます。そのために、これまでとは違ったことにも積極的にチャレンジしたいと思います。

在家中学校の歴史を考えれば中継地点であり、転換期でもある現在、試行錯誤を重ねる中で、保護者や地域の皆様にはこれまで以上のお願いをさせていただくかもしれません。皆様方には、本年度も引き続き深いご理解と、厚いご支援、ご協力を願い申し上げます。